

Shell Omala S2 G

・高温、高荷重対応
・グローバルスタンダード

シェル オマラ S2 G

シェル オマラ S2 G は、過酷な使用条件で運転される工業用ギヤのために、極圧添加剤をはじめ酸化防止剤、消泡剤などをバランスよく配合した、高品質な極圧ギヤ油です。高荷重性能と低摩擦特性を兼ね備えた優れた性能を有します。

製品性能と特徴

・ 機械寿命の延長－優れた極圧性能

シェル オマラ S2 G は、高度精製した基油に極圧性添加剤を配合したことで、高荷重のかかるギヤや軸受などの機械寿命の延長が期待できます。

ü 腐食防止性を持つ

シェル オマラ S2 G は優れた腐食防止性を持ち、水の混入によって引き起こされる鋼や銅合金の腐食を防止します。

ü 消泡性に優れている

特殊な消泡剤を添加しているため、油浴潤滑や循環給油での攪拌によって生じる激しい泡立ちを抑え、機械の破損を防止します。

ü 耐熱性に優れている

シェル オマラ S2 G は、高温使用に対しても安定性がよく、スラッジの生成を抑え、油の使用期間を延ばすことができ、機器のメンテナンス期間を計画的に立てられます。

・ メンテナンス低減－ロングライフ

シェル オマラ S2 G は、高度精製基油に最適な添加剤を配合しているため、潤滑油寿命の延長が期待できます。

ü 優れた水分離性

ギヤの使用環境では、凝縮水やクーラーの破損による漏洩などで水が混入することがあります。混入した水はスラッジを生成したり、潤滑油全量がエマルジョン化することがあります。シェル オマラ S2 G は優れた水分離特性を有し、水が混入しても遠心分離などで簡単に水を抜くことができ、使用期間の延長が期待できます。

・ 適合規格

- ・Fives Cincinatti P-63(VG68), P-76(VG100), P-77(VG150), P-74 (VG220), P-59 (VG320), P-35(VG460), P-34(VG680)
- ・AGMA 9005- EO2
- ・ISO 12925-1 Type CKD (ISO460, 680 は Type CKC)
- ・DIN 51517- Part 3 (CLP)

シェル オマラ S2 G 代表性状*							
油種 \ 項目	密度 (15℃) g/cm ³	引火点 (開放式) ℃	流動点 ℃	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
					@40℃	@100℃	
シェル オマラ S2 G 68	0.882	216	−25.0	L1.0	68	8.8	100
シェル オマラ S2 G 100	0.887	240	−25.0	L1.0	100	11.3	98
シェル オマラ S2 G 150	0.891	238	−25.0	L2.0	150	14.8	98
シェル オマラ S2 G 220	0.896	242	−20.0	L3.0	220	19.2	98
シェル オマラ S2 G 320	0.900	240	−15.0	3.0	320	24.1	96
シェル オマラ S2 G 460	0.902	262	−12.5	3.0	460	30.6	96
シェル オマラ S2 G 680	0.904	246	−10.0	4.0	680	42.5	104

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変わる場合があります。(2016-01)

シェル オマラ S2 G の販売荷姿 : 200Lドラム 20L ペール缶

■ 使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート (SDS) をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけではなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルブカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 ▼下記の注意事項に従ってお取扱ってください。

＜＜取り扱い上の注意＞＞	
【安全対策】	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
【応急措置】	・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
【保管】	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
【廃棄】	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Ver.1. 2017.11.1